

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 スズキ株式会社  
 コード番号 7269 URL <http://www.suzuki.co.jp/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 鈴木 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小林 聖慈  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日 配当支払開始予定日 平成20年11月28日

上場取引所 東

TEL 053-440-2030

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	1,719,854		60,690		68,821		34,232	
20年3月期第2四半期	1,728,792	16.6	78,748	16.1	85,193	19.2	46,070	16.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	75.90		66.50	
20年3月期第2四半期	102.17		89.48	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年3月期第2四半期	2,279,320		876,642		33.4		1,685.77	
20年3月期	2,409,165		902,894		32.3		1,726.21	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 760,368百万円 20年3月期 778,609百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期		8.00		8.00	16.00
21年3月期		8.00			
21年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	3,200,000	8.6	100,000	33.1	110,000	29.9	60,000	25.2	133.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 有

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	542,647,091株	20年3月期	542,647,091株
期末自己株式数	21年3月期第2四半期	91,597,046株	20年3月期	91,594,918株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	451,051,195株	20年3月期第2四半期	450,920,377株

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通しについては、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に円/米ドル相場、円/ユーロ相場)などが含まれます。

業績予想の前提となる条件等については、5ページ[定性的情報・財務諸表等]「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に基づいて作成しています。

## 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,820,000	10.4	33,000	51.1	33,000	46.9	22,000	46.2	48.77

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

## ・当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融市場混乱の影響から、欧米経済は減速を強め、さらには世界経済全体も減速するなど、先行きについても不透明な状況が続いております。国内においても原油・原材料価格高騰の影響から企業収益が減少傾向にある中、設備投資も伸び悩んでおり、世界経済の成長鈍化から輸出も減少するなど景気の減速感が強まってまいりました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間は、北米での大幅な売上減少を他の地域の販売で補いきれず、連結売上高は1兆7,198億5千4百万円（前年同期比99.5%）と前年同期を若干下回りました。連結利益の面では、原材料価格上昇、為替影響、研究開発費の増による減益を、原価低減、減価償却費・諸経費の減などで吸収出来ず、営業利益は606億9千万円（前年同期比77.1%）、経常利益は688億2千1百万円（前年同期比80.8%）、四半期純利益も342億3千2百万円（前年同期比74.3%）と減益となりました。

## &lt; 事業の種類別セグメントの業績 &gt;

## （二輪車事業）

北米、欧州での売上減少により、二輪車事業の売上高は2,829億4千2百万円（前年同期比96.8%）となりました。営業利益は、為替影響や北米の売上減少による減益を、原価低減、諸経費の減などで吸収出来ず、60億5千1百万円（前年同期比49.9%）と減少しました。

## （四輪車事業）

国内では、全体需要が減少しているなか、小型車「スイフト」、及び軽自動車「パレット」の好調な販売に加え、「エスクード」に新エンジンを搭載するなどの大幅な改良を実施し、商品力の強化をはかり拡販に努めた結果、国内売上高は、前年同期を上回ることが出来ました。一方、海外では、世界戦略車「スイフト」、「SX4」の順調な販売、欧州での「スプラッシュ」の新規投入などにより拡販を図りましたが、北米の販売減、及びアジア各国の通貨下落による円貨換算の影響等により海外売上高は前年同期を下回りました。その結果、四輪車事業の売上高は1兆4,130億9千4百万円（前年同期比101.2%）となりましたが、営業利益は、原材料価格上昇・為替影響による減益を、原価低減、諸経費の減などで吸収出来ず、436億2千4百万円（前年同期比73.4%）と減少しました。

## （金融事業）

当第2四半期連結累計期間より当社グループの事業内容をより明瞭に示すため、新たに金融事業を区分することにしました。売上高は359億5千7百万円、営業利益は21億9百万円となりました。

## （その他の事業）

その他の事業の売上高は、国内売上は増加したものの、船外機の北米での売上減少により、390億3百万円（前年同期比99.0%）となり、営業利益についても、61億5千3百万円（前年同期比85.9%）と減少しました。

## &lt; 所在地別セグメントの業績 &gt;

## （日本）

売上高は北米向けの売上減少などにより、1兆211億5千7百万円（前年同期比96.1%）となりました。営業利益は売上減少や原材料価格上昇・為替影響による減益を、原価低減、諸経費の減などで吸収出来ず、315億3千2百万円（前年同期比82.6%）と減少しました。

## (欧州)

新型コンパクトカー「スプラッシュ」の投入などにより四輪車の売上は増加しましたが、二輪車の販売減により、売上高は3,947億1千4百万円(前年同期比98.1%)と減少しました。営業利益は、二輪車の売上減少、及び四輪車の売上構成の変化などにより、22億3千5百万円(前年同期比24.9%)と大幅に減少しました。

## (北米)

ガソリン価格高騰やサブプライムローン問題等によるアメリカでの販売減少により、売上高は1,640億3千7百万円(前年同期比76.7%)となり、営業利益についても、67億3百万円とマイナスになりました。

## (アジア)

インドネシアのインドモービル スズキ インターナショナル社の売上増加等はあったものの、パキスタンでの販売減少、及びアジア各国の通貨下落による円貨換算の影響等により、売上高は4,163億3百万円(前年同期比99.5%)と減少しました。営業利益については、原材料価格上昇・為替影響による減益などにより、206億7千万円(前年同期比78.9%)と減少しました。

## (その他の地域)

売上高は、大洋州や中南米、アフリカでの増加により、483億8千4百万円(前年同期比116.1%)となりましたが、諸経費の増加などにより営業利益は、14億円(前年同期比41.8%)と減少しました。

なお、当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、連結経営成績に関する定性的情報の前年同期比率については、参考として記載しています。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ・資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は2兆2,793億2千万円(前連結会計年度末比1,298億4千4百万円減)、また、負債の部は1兆4,026億7千8百万円(前連結会計年度末比1,035億9千2百万円減)、純資産の部は8,766億4千2百万円(前連結会計年度末比262億5千2百万円減)となりました。

北米の売上減少など厳しい経営環境の中、当社グループは前期の第4四半期より、在庫削減を徹底しました結果、当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産は3,849億8千5百万円(前連結会計年度末比557億7千4百万円減)と減少しました。

## ・キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、営業活動より1,183億円の資金を得、投資活動では、有形固定資産の取得など1,193億7千5百万円の資金を使用しました結果、フリー・キャッシュ・フローは10億7千4百万円のマイナスとなりました。また、財務活動では、短期借入金の返済などにより、368億1千8百万円の資金が減少しました。

その結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は3,997億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ565億9千7百万円減少しました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機の影響により、当第2四半期後半から世界各地で景気後退が顕在化し、自動車販売の先行きも不透明な状況になってきています。また、為替レートも各国通貨に対して、円高が急進するなど、当社グループを取り巻く環境は大幅に変化しています。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想を以下の通り修正致します。今後の景気動向、為替など不透明な点もありますが、当社グループは一丸となってあらゆる分野での改革に取り組み、業績予想以上を達成すべく事業活動を展開してまいります。

## (連結業績予想)

売上高	3兆2,000億円	(前期比 8.6%減、前回予想比 3,000億円減)
営業利益	1,000億円	(前期比 33.1%減、前回予想比 400億円減)
経常利益	1,100億円	(前期比 29.9%減、前回予想比 400億円減)
当期純利益	600億円	(前期比 25.2%減、前回予想比 200億円減)
為替レート	1米ドル = 通期100円(上期106円、下期95円)	
	1ユーロ = 通期140円(上期162円、下期125円)	

## (個別業績予想)

売上高	1兆8,200億円	(前期比 10.4%減、前回予想比 1,800億円減)
営業利益	330億円	(前期比 51.1%減、前回予想比 90億円減)
経常利益	330億円	(前期比 46.9%減、前回予想比 120億円減)
当期純利益	220億円	(前期比 46.2%減、前回予想比 80億円減)
為替レート	1米ドル = 通期105円(上期109円、下期100円)	
	1ユーロ = 通期155円(上期162円、下期150円)	

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に円/米ドル相場、円/ユーロ相場)などが含まれます。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 簡便な会計処理

採用した簡便な会計処理のうち、重要なものはありません。

## 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を一括し、法人税等として表示しています。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しています。

## 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

## たな卸資産

第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、評価基準については、「主として総平均法による低価法」から「主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)」に変更しています。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

## 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

## 「リース取引に関する会計基準」等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号 平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	118,810	129,447
受取手形及び売掛金	288,934	331,172
有価証券	305,331	345,984
商品及び製品	302,461	360,287
仕掛品	28,155	21,982
原材料及び貯蔵品	54,368	58,489
その他	237,172	240,186
貸倒引当金	4,105	4,512
流動資産合計	1,331,129	1,483,038
固定資産		
有形固定資産	616,734	601,112
無形固定資産	2,587	3,722
投資その他の資産		
投資有価証券	159,012	161,000
その他	170,998	161,380
貸倒引当金	1,052	1,003
投資損失引当金	89	87
投資その他の資産合計	328,868	321,290
固定資産合計	948,191	926,126
資産合計	2,279,320	2,409,165
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	541,205	605,372
短期借入金	162,307	196,390
未払法人税等	16,988	24,857
製品保証引当金	64,374	63,022
その他	289,093	277,152
流動負債合計	1,073,969	1,166,795
固定負債		
転換社債	29,605	29,606
新株予約権付社債	149,975	149,975
長期借入金	71,243	74,684
退職給付引当金	43,872	46,395
その他の引当金	8,963	10,813
その他	25,049	27,999
固定負債合計	328,708	339,474
負債合計	1,402,678	1,506,270

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,210	120,210
資本剰余金	138,143	138,143
利益剰余金	745,750	717,357
自己株式	219,504	219,499
株主資本合計	784,599	756,212
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,009	16,549
繰延ヘッジ損益	2,182	9,236
為替換算調整勘定	34,422	3,389
評価・換算差額等合計	24,230	22,396
少数株主持分	116,273	124,285
純資産合計	876,642	902,894
負債純資産合計	2,279,320	2,409,165



(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

	(単位:百万円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	1,719,854
売上原価	1,312,090
売上総利益	407,764
販売費及び一般管理費	347,073
営業利益	60,690
営業外収益	
受取利息	11,534
受取配当金	1,666
持分法による投資利益	248
その他	8,680
営業外収益合計	22,129
営業外費用	
支払利息	5,461
有価証券評価損	6,840
その他	1,695
営業外費用合計	13,998
経常利益	68,821
特別利益	
固定資産売却益	248
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	248
特別損失	
固定資産売却損	637
減損損失	344
特別損失合計	981
税金等調整前四半期純利益	68,088
法人税等	24,509
少数株主利益	9,346
四半期純利益	34,232

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	68,088
減価償却費	72,378
減損損失	344
受取利息及び受取配当金	13,200
支払利息	5,461
持分法による投資損益(は益)	248
売上債権の増減額(は増加)	36,405
たな卸資産の増減額(は増加)	46,635
仕入債務の増減額(は減少)	59,616
未払費用の増減額(は減少)	2,011
その他	18,207
小計	136,030
利息及び配当金の受取額	13,030
利息の支払額	5,147
法人税等の支払額	25,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,300
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	19,453
定期預金の払戻による収入	13,414
有価証券の取得による支出	4,114
有価証券の売却による収入	4,092
有形固定資産の取得による支出	95,747
有形固定資産の売却による収入	4,117
無形固定資産の取得による支出	463
投資有価証券の取得による支出	22,074
その他	854
投資活動によるキャッシュ・フロー	119,375
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(は減少)	34,734
長期借入れによる収入	5,978
長期借入金の返済による支出	2,298
配当金の支払額	3,606
少数株主への配当金の支払額	2,088
その他	68
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,703
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	56,597
現金及び現金同等物の期首残高	456,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	399,771

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	二輪車事業 (百万円)	四輪車事業 (百万円)	金融事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	282,942	1,383,726	14,232	38,953	1,719,854	-	1,719,854
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	29,368	21,725	50	51,143	(51,143)	-
計	282,942	1,413,094	35,957	39,003	1,770,998	(51,143)	1,719,854
営業利益	6,051	43,624	2,109	6,153	57,938	2,751	60,690

(注) 1 事業の区分は、市場及び販売方法の類似性に内部管理上採用している区分を加味した方法によっています。

2 各事業区分の主要製品等

事業区分	主要製品等
二輪車事業	小型二輪自動車、軽二輪自動車、原動機付自転車、パギー
四輪車事業	軽自動車、小型自動車、普通自動車
金融事業	販売金融等
その他の事業	船外機、雪上車用等エンジン、電動車両、住宅

3 事業区分の方法の変更

従来、事業を「二輪車事業」「四輪車事業」「その他の事業」の3区分としていましたが、当第2四半期連結会計期間より、当社グループの事業内容をより明瞭に示すため、金融事業を区分し、「二輪車事業」「四輪車事業」「金融事業」「その他の事業」の4区分に変更しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、従来の方法に比較して、売上高については「四輪車事業」において15,135百万円、「金融事業」において35,957百万円、「その他の事業」において50百万円増加し、「消去又は全社」において51,143百万円減少しています。また、営業利益については「四輪車事業」において4,861百万円減少し、「金融事業」において2,109百万円、「消去又は全社」において2,751百万円増加しています。

また、第1四半期連結累計期間は従来の方法によっています。従って、第1四半期連結累計期間は、変更後の方法による場合に比較して、売上高については「四輪車事業」において6,537百万円、「金融事業」において15,057百万円、「その他の事業」において25百万円減少し、「消去又は全社」において21,545百万円増加しています。また、営業利益については「金融事業」において961百万円減少し、「四輪車事業」において245百万円、「消去又は全社」において678百万円増加しています。

## 【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	708,687	392,131	162,268	408,382	48,384	1,719,854	-	1,719,854
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	312,469	2,582	1,768	7,921	-	324,742	(324,742)	-
計	1,021,157	394,714	164,037	416,303	48,384	2,044,596	(324,742)	1,719,854
営業利益又は営業損失	31,532	2,235	6,703	20,670	1,400	49,134	11,556	60,690

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 欧 州 …… ハンガリー、英国、ドイツ
- (2) 北 米 …… 米国、カナダ
- (3) ア ジ ア …… インド、インドネシア、パキスタン
- (4) その他の地域 …… オーストラリア、コロンビア

## 【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	468,922	170,532	437,289	159,797	1,236,542
連結売上高(百万円)	-	-	-	-	1,719,854
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.3	9.9	25.4	9.3	71.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 欧 州 …… ハンガリー、英国、ドイツ
- (2) 北 米 …… 米国、カナダ
- (3) ア ジ ア …… インド、インドネシア、中国
- (4) その他の地域 …… オーストラリア、コロンビア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) 中間連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	前中間連結会計期間 (19.4.1~19.9.30)	
		%
<b>売 上 高</b>	<b>1,728,792</b>	<b>100.0</b>
売 上 原 価	1,296,327	
売 上 総 利 益	432,464	25.0
販売費及び一般管理費	353,716	
<b>営 業 利 益</b>	<b>78,748</b>	<b>4.6</b>
営 業 外 収 益	21,635	1.3
受取利息及び受取配当金	10,180	
持分法による投資利益	2,848	
その他の営業外収益	8,607	
営 業 外 費 用	15,190	0.9
支 払 利 息	5,025	
その他の営業外費用	10,164	
<b>経 常 利 益</b>	<b>85,193</b>	<b>4.9</b>
特 別 利 益	827	0.0
投資有価証券売却益	513	
固定資産売却益	314	
特 別 損 失	171	0.0
固定資産売却損	171	
税金等調整前中間純利益	85,849	5.0
法人税、住民税及び事業税	27,382	
少数株主利益	12,396	
<b>中 間 純 利 益</b>	<b>46,070</b>	<b>2.7</b>

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	前中間連結会計期間 (19.4.1~19.9.30)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	85,849
減価償却費	82,762
受取利息及び受取配当金	10,180
支払利息	5,025
持分法による投資利益	2,848
売上債権の減少額	23,909
たな卸資産の減少額	14,635
仕入債務の減少額	19,888
未払費用の減少額	1,403
その他	1,732
小計	179,595
利息及び配当金の受取額	9,391
利息の支払額	5,728
法人税等の支払額	41,717
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>141,541</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	60,815
定期預金の払出による収入	13,015
有価証券の取得による支出	3,773
有価証券の売却による収入	13,726
有形固定資産の取得による支出	106,042
投資有価証券の取得による支出	1,437
投資有価証券の売却による収入	1,567
その他	23,831
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>119,927</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純減少額	39,394
長期借入れによる収入	9,063
配当金の支払額	3,604
少数株主への配当金の支払額	2,089
自己株式の取得による支出	13
自己株式の売却による収入	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>36,037</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,224
現金及び現金同等物の減少額	2,198
現金及び現金同等物の期首残高	444,335
連結子会社の会計期間変更に伴う 現金及び現金同等物の期首残高減少額	978
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>441,158</b>

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	二輪車事業	四輪車事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	292,401	1,396,995	39,395	1,728,792	-	1,728,792
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	292,401	1,396,995	39,395	1,728,792	-	1,728,792
営業費用	280,276	1,337,535	32,232	1,650,044	-	1,650,044
営業利益	12,124	59,460	7,162	78,748	-	78,748

## 【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	日本	欧州	北米	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	661,027	400,833	211,509	413,749	41,670	1,728,792	-	1,728,792
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	401,443	1,420	2,328	4,764	-	409,957	(409,957)	-
計	1,062,471	402,254	213,838	418,514	41,670	2,138,749	(409,957)	1,728,792
営業費用	1,024,284	393,265	213,602	392,307	38,322	2,061,784	(411,739)	1,650,044
営業利益	38,186	8,988	235	26,206	3,347	76,965	1,782	78,748

## 【海外売上高】

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高	465,672	221,122	439,679	137,677	1,264,151
連結売上高					1,728,792
連結売上高に占める海外売上高の割合	26.9%	12.8%	25.4%	8.0%	73.1%

## 6. その他の情報

## 【売上の内訳】

(単位：数量 千台未満切捨て、金額 百万円未満切捨て)

		前中間連結会計期間 (19.4.1~19.9.30)		当第2四半期 連結累計期間 (20.4.1~20.9.30)		比較増減	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
二 輪 車	国内	92	22,116	81	23,189	11	1,073
	海外	755	270,284	922	259,752	166	10,531
	欧州	102	92,154	90	78,846	11	13,308
	北米	90	76,103	67	57,342	22	18,760
	アジア	477	63,098	664	77,116	186	14,018
	その他	85	38,928	99	46,447	14	7,518
	計	848	292,401	1,003	282,942	155	9,458
四 輪 車	国内	367	432,518	365	433,004	2	485
	海外	796	964,476	863	950,721	66	13,754
	欧州	193	363,904	227	381,095	33	17,191
	北米	56	131,978	52	103,503	3	28,474
	アジア	473	374,551	499	357,929	25	16,621
	その他	72	94,042	83	108,192	10	14,149
	計	1,164	1,396,995	1,228	1,383,726	64	13,269
そ の 他	国内	-	10,004	-	13,050	-	3,045
	海外	-	29,390	-	25,903	-	3,487
	欧州	-	9,613	-	8,816	-	797
	北米	-	13,040	-	9,685	-	3,354
	アジア	-	2,030	-	2,243	-	212
	その他	-	4,705	-	5,157	-	451
	計	-	39,395	-	38,953	-	442
小 計	国内		464,640		469,244		4,603
	海外		1,264,151		1,236,377		27,773
	欧州		465,672		468,758		3,086
	北米		221,122		170,532		50,589
	アジア		439,679		437,289		2,390
	その他		137,677		159,797		22,120
	計		1,728,792		1,705,622		23,170
金融				-	14,232	-	14,232
合計		1,728,792		1,719,854		8,937	